

ADRAフレンドを募集しています



人々に寄り添い続けるために。

**ADRA Japanを
支えてください。**

ADRAフレンド 月々 **1,000円**から

一人ひとりの力が、社会の**環**をつくる。

ADRAフレンドは、継続的にADRA Japanの活動全体を支える仕組みです。お申し込みはオンラインまたは専用の申込用紙で受け付けています。申込用紙をご希望の方は、お電話でご請求ください。ADRAフレンドのご寄付は「一般寄付」として活用させていただきます。

詳しくは「ADRAフレンド」を検索

もしくはこちらの
QRを読み込んで
ください。



※ 1回のご寄付はこちらを切り取ってお使いください。（※ 使用期限はありません）



クレジットカード、PayPay、銀行振込でのご寄付は
こちらのQRからお申し込みください。



発行人 青木 泰樹

発 行 認定NPO法人 ADRA Japan (アドラ・ジャパン)
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-11-1
代表者 伊藤 裕史 (理事長)
事務局責任者 青木泰樹 (常務理事/事務局長)
設立年月日 1980年3月30日
TEL: 03-5410-0045 FAX: 03-5474-2042
E-mail: support_adra@adrajpn.org
Facebook: adrajapan X (Twitter): ADRA_Japan
Instagram: adra_japan LINE: https://lin.ee/sbm2uFM
YouTube: @ADRAJapan



活動の様子をブログで公開しています。
あなたの寄付がどのような活動に使われて
いるか、ぜひ見にきてください！



収入印紙
課税相当額以上
貼 付

印

(2024.1)

ADRA 季刊誌 2026.9 Vol.149

ひかり

つながりが力になる。
地域の声に耳を傾け、ともに歩む支援。



熊本県氷川町内にあるデイサービスへ
物資をお渡ししました

希望とちからを手から手へ



Justice.
Compassion
Love



給水車からポリタンクに生活用水を受け取る地域の皆さん

令和8年熊本地震被災者支援

7月28日16時27分に発生した熊本地震では、断水や猛暑の影響も重なり、多くの方々が厳しい生活を余儀なくされました。ADRA Japanは地震発生後にスタッフを現地へ派遣し、まず、宇城市や氷川町などで被害状況の調査を行いました。



関係機関と連携・調整のもとで行った屋根被害への応急対応

千葉県豪雨被災者支援

8月13日の夜から14日朝にかけて千葉県を襲った豪雨(令和8年8月豪雨)は、12時間で8月の平年1か月分の約3倍の雨が降り、記録的な大雨となりました。道路の冠水や住宅の床上・床下浸水などの被害が発生するなど、暮らしに大きな影響が出ました。

浸水した家屋の片付けでは、泥や汚れを拭き取るために雑巾が欠かせません。そこでADRA Japanは、千葉県社会福祉協議会を通じて各地の状況を確認し、ボランティアの皆さまが一枚一枚手作りで縫ってくださった雑巾を、大網白里市災害ボランティアセンターへ約900枚、市原市社会福祉協議会へ250枚お届けしました。

ヒアリングを続けていると「再開したデイサービスが困っている」と、住民の方が案内してくださり、果物や飲料水、レトルト食品、紙おむつ、簡易トイレなどの支援物資をお渡ししました。物資を受け取られた施設の方からは、「あー！これで果物切ってだしてあげられます。ちょっとでも栄養を考えたいので」と、安堵の声が聞かれました。

氷川町内を回っていると、至る所でコンクリートの盛り上がりやひび割れ、段差の発生が見られ、通行できない道路もありました。断水が続く地域では、水を運搬・保管するための容器が不足していたため、ポリタンクも提供しました。

また、御船町では、ボランティアセンターと連携しながら、住まいに関する困りごとへの対応を進めています。これまでに300件を超える相談が寄せられており、中でも屋根瓦の落下やずれに関する内容が多くなっています。

被災地では、さまざまな困難が続いています。ADRA Japanは、被災された方々一人ひとりの声に耳を傾けながら、生活再建に向けた歩みを共に支えていきます。



市原市社会福祉協議会へ届けた雑巾（左）と、大網白里市災害ボランティアセンターへ届けた雑巾（右）



ベネズエラ地震

6月24日、ベネズエラでマグニチュード7.2と7.5の大規模な地震が立て続けに発生しました。首都カラカスを含む広い地域で深刻な被害が発生し、多くの人々が住まいを失いました。ADRAでは、都市型搜索救助隊（USAR）の活動をサポートするほか、カラカスおよびラ・グアイラ州の避難所を中心に、6か月で約9万人を対象とした緊急人道支援を実施しています。

ベネズエラは地震前から、長年にわたる経済・社会・政治危機のため790万人が支援を必要とする人道危機下にありました。今回の地震により、住居、食料、水・衛生、医療、子どもの保護、心理社会的支援のすべての分野で緊急ニーズが発生しています。

「安全な水の供給」「衛生キットの配付」「避難者への衛生支援」は目標の60%を達成しており、最終的には70万リットルの安全な飲料水を提供し、7,000セットの衛生・浄水キットを配付することを目指しています。



カラカスやラ・グアイラ州で物資を配付しました

この払込取扱票は、ゆうちょ銀行窓口または、郵便局の払込機能付きのATMでご利用いただけます。
切り取っておき、必要なおきにお使いください。（※ 使用期限はありません）

払 込 取 扱 票										通常払込料金 加入者負担										
02		口座記号番号								金額	千	百	十	万	千	百	十	円		
00		2	9	0	2	3			4	1	6	9	※							
加入者名		(特活)ADRA Japan										料金	備考							
※		ご依頼人・通信欄										□ ADRAの活動全般を支援 □ その他事業名または国名：								
※		おところ（郵便番号）										(2026.9)								
※		おなまえ										日 附 印								
※		(電話番号 - -)																		
ご依頼人欄に、おところ・おなまえをご記入ください。(承認番号東第64678号) これより下部には何も記入しないでください。																				

特定非営利法人アドラ・ジャパンは、「認定NPO法人」です。
皆さまからのご寄付は、税法上の特別措置の対象となります。
領収証は、毎年1月下旬頃に前年1年分をまとめてお送りします。

各票の※印欄は、ご依頼人様においてご記入ください。

コロンビア地震

8月10日、コロンビア西部チョコ県サン・ホセ・デル・パルマル近郊を震源とするマグニチュード7.4の地震が発生しました。地震は、広範囲に大きな揺れをもたらし、特に、震源に近いチョコ県をはじめ、バジェ・デル・カウカ県、リサルダ県、カルダス県などで、大きな被害が確認されています。

ADRAは、地震発生直後から被災地でニーズ調査と支援を進めており、8月14日には、バジェ・デル・カウカ県で現金給付支援を開始しました。すでに457人への給付を実施し、1,500人への支援を目指して活動を広げています。特に、住居を失った世帯、幼い子どものいる世帯、高齢者や障害のある方がいる世帯などを優先しています。

不安な日々を過ごしている方々が、一日も早く安心して暮らせる環境を取り戻せるよう、今後も関係機関と連携しながら活動を続けてまいります。



バジェ・デル・カウカ県で現金給付を実施しました

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号		002902										通常払込 料金加入 者負担	
		34169											
加入者名		(特活)ADRA Japan											
金額		千 百 十 万 千 百 十 円										※	
ご依頼人		おなまえ										※	
料金		日 附 印										様	
備考													

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないで出してください。

この受領証は、大切に保管してください。